

産 業 建 設 委 員 会 記 録

開会年月日	平成 25 年 5 月 16 日
開会時刻	午前 10 時 00 分
閉会時刻	午前 11 時 03 分
出席委員名	◎小山 敏 ○岡田 善行 吉井 詩子 品川 幸久
	山根 隆司 上田 修一 工村 一三 山本 正一
	世古口新吾
	杉村 定男議長
欠席委員名	
署名者	吉井 詩子 品川 幸久
担 当 書 記	中野 諭
審 議 議 案	継 続 調 査 宇治浦田交通広場及びその周辺の交通対策その他 案 件 諸問題に関する事項(市営宇治駐車場及び市営内宮 前駐車場の検証について)
説 明 者	産業観光部長、都市整備部長、都市整備部次長、交通政策課長
	上下水道部長 上下水道部次長
	ほか関係参与

☆審議の経過

小山委員長開会宣言及び会議成立宣言。委員会記録の署名委員に吉井委員、品川委員を指名し直ちに会議に入った。

継続調査となっている「宇治浦田交通広場及びその周辺の交通対策その他諸問題に関する事項」「市営宇治駐車場及び市営内宮前駐車場の検証について」を議題とし、当局から説明、若干の質疑ののち、さらに調査を継続することを決定し、委員会を閉会した。

なお、概要は次のとおりです。

開会 午前10時00分

◎小山 敏委員長

ただいまから産業建設委員会を開会いたします。

本日の出席者は全員でありますので、会議は成立いたしております。

それでは会議に入ります。

会議録署名者2名を委員長において指名いたします。

吉井委員、品川委員の御両名をお願いいたします。

本日の案件は、継続調査となっております「宇治浦田広場及びその周辺整備の交通対策その他諸問題」でございます。

議事の進め方につきましては、委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎小山 敏委員長

御異議なしと認めます。

そのように取り計らわせていただきます。

それでは、「宇治浦田広場及びその周辺整備の交通対策その他諸問題」の「市営宇治駐車場及び市営内宮前駐車場の検証について」を議題といたします。

当局の説明を求めます。

交通政策課長。

●岡交通政策課長

それでは、市営宇治駐車場及び市営内宮前駐車場の検証につきまして御説明申し上げます。

本日は、ことし3月で宇治駐車場が運営開始から1年が経過いたしましたので、その検証結果と懸案事項、そして懸案事項について、今回見直しをさせていただきたい点につきまして御説明申し上げます。

資料の1ページをごらんください。

大きな1番、「1年間の検証結果」でございます。

1番、有料化による効果といたしましては、まず、(1)の駐車場収入による渋滞緩和についてでございます。

1点目は、正月期及びゴールデンウィークにおけるパークアンドバスライドの費用を確保でき、円滑な交通対策を図ることができました。

具体的には、伊勢自動車道における最大渋滞長がパークアンドバスライド未実施の平成15年1月2日に13.9キロメートルでありましたが、パークアンドバスライド実施日のことし1月2日には0.5キロメートルとなっております。

2点目は、交通誘導員による交差点及び駐車場内の車両誘導の充実を図ることができました。

具体的には、宇治浦田周辺の休日における交通誘導員の配置におきまして、有料化前は2名しか配置できませんでしたが、平成25年3月のグリーントピア閉鎖時において9名、開設時におきましては13名から21名の配置ができるようになりました。

3点目は、駐車場の出入庫管理システムの導入により駐車台数の把握が可能となったことで、インターネットを通じた駐車場の満車空車情報の提供ができるようになりました。

4点目は、電光掲示板の設置を行い、車両の誘導が円滑に行えるようになりました。具体的には、電光掲示板を13カ所設置いたしております。

(2)の駐車場の容量確保についてでございます。

1点目は、長時間及び長期間駐車抑制ができ、駐車場の有効利用が可能になったこととございます。

これまで、長時間駐車と思われる利用が、有料化前の平成23年6月25日の土曜日午前9時におきまして176台ございましたが、有料化後の平成24年6月23日の土曜日午前9時には43台であり、有効利用の促進ができたものと考えております。

2点目は、臨時駐車場の造成費が確保できたことにより、公園などを整備し駐車場容量を確保できるようになったことがあげられます。

具体的には、グリーントピアにおきまして整備前する前は、雨の後では2、3日間、水でぬかるみ車両の乗り入れが使用不可能となっておりますでしたが、整備後は小雨程度であれば、当日でも乗り入れができるようになり、620台分の収容が可能となっております。

次に、2番目の懸案事項につきまして御説明いたします。

懸案事項は大きく3点でございます。

まず、「(1)バス料金の設定について」でございます。

バスは大量輸送に寄与していることから、通常、内宮前駐車場の第3駐車場に加えて、行楽シーズンなどのバスの多い時期には第2駐車場も含め無料としています。

一方、観光バスが第3駐車場及び第2駐車場に入りきれない場合、陸上競技場に回送しますが、陸上競技場が利用できない場合は、伊勢志摩スカイラインに回送することとしています。しかし、伊勢志摩スカイラインへの回送の場合、通行料が2,500円必要となり、市営駐車場が無料であるため、バス運転手から回送を拒まれることが発生し、円滑な交通対策が阻害されている状況で、10月に遷宮を迎える時期でもあり、円滑な交通対策を図るためにも喫緊に解決をしなければならない課題となっております。

ます。

次に「(2) 河川敷駐車場の入庫時間の統一について、」でございます。

現在、河川敷駐車場の入庫時間は4月から9月の夏季が7時から19時まで、10月から翌年の3月までの冬季が7時から17時までとし、冬季において時間短縮をしておりますが、2期間制は利用者に伝わりにくく混乱を生じさせております。

また、冬季の繁忙期において、17時以降も河川敷に入庫しようとする車両が堤防沿いに並び、やむを得ず臨時的に入庫させるなどの対応をしなくてはならないことが生じております。

次に、「(3) の料金改定の検討について」でございます。

資料4ページの上段、時間別利用状況も、今ごらんいただいております2ページから3ページの資料と併せてごらんいただきたいと存じます。

なお、この中で閑散期、繁忙期につきましては、繁忙期は、土曜日、日曜日、祝日、ゴールデンウィーク、お盆、年末年始、1月の全ての日で算出しております、閑散期はこれら以外の平日で算出しております。

まず、資料2ページの「①閑散期と繁忙期の駐車台数について」でございます。

1日平均利用台数は、宇治駐車場については、閑散期が770台、繁忙期が2,788台と約3.6倍の開きがあるのに対して、内宮前駐車場は、閑散期が866台、繁忙期が754台と、閑散期と繁忙期にほとんど差がない状況となっております。

特に、宇治駐車場については、渋滞しない閑散期での料金負担に不満の意見があると共に、閑散期におけるおはらいまち周辺の商店等の利用者数が減少したという声もあります。

次に、「②臨時駐車場の駐車料金との整合性について」でございます。

繁忙期は五十鈴公園グリーンピアを臨時駐車場として開設し、一律1,000円を頂戴しているため、市営駐車場と比較して利用する時間により料金の格差が生じています。

次に、「③駐車料金の無料時間の設定について」でございます。

1時間以内の利用は、宇治駐車場の閑散期が28%、繁忙期が10%、内宮前駐車場の閑散期が29%、繁忙期が27%となっておりますが、一方で、一律1,000円の臨時駐車場では1%でございました。

現行は、1時間無料としており、短時間利用者への利便に配慮してきましたが、1時間の設定をすることにより、駐車場から早く出ようとする車両があるのではないかと考えております。

次に、資料3ページ「④時間加算制について」でございます。

繁忙期において2時間までの駐車は、宇治駐車場が38%、臨時駐車場においても30%でありました。3時間の場合、宇治駐車場が74%、臨時駐車場が70%、4時間の場合、宇治駐車場が93%、臨時駐車場が91%であり、宇治駐車場、臨時駐車場ともほとんどが4時間以内で退出されており、長時間駐車抑制の観点からは効果があがっております。

一方で、現行の駐車料金は、2時間以降30分毎に100円加算となっており、せわしないという不満の声があがっております。

次に「⑤夜間料金の設定について」でございます。

17時から翌7時までの利用は、宇治駐車場が6.2%、内宮前駐車場が11.2%となっております。この形態は夜間の行事を想定し設けたものでありますが、夜間行事はほとんどなく、特に大みそかにおいては、臨時駐車場の1,000円に対して、市営駐車場に3時間停めた場合300円となり、極端な不公平を与えております。

以上が懸案事項でございます。

続きまして、大きな2番「懸案事項に対する対策について」でございます。

先ほど御説明いたしました、バス料金の設定につきましては、円滑な交通対策を図る上で伊勢志摩スカイラインの通行料以上の料金設定が必要と考えており、乗降を除き駐車は一律3千円を徴収したいと考えております。

なお、バス料金の設定につきましては、10月の遷宮までに行いたく、早急に是正する必要があるため、9月中の施行を予定したいと考えておりますことから、6月議会に提案をいたしたいと考えております。

次に(2)の河川敷駐車場の入庫時間の統一については、管理上においても特に問題はないと考えられるため、入庫時間については、通年で7時から19時に統一したいと考えております。

なお、このことにつきましても、9月中の施行を予定したいと考えておりますことから、併せて6月議会に提案したいと考えております。

次に(3)の現在の料金の検討につきましては、神宮様、地元事業者様、商工会議所様と料金設定について意見を伺っているところでございまして、今しばらく、お時間を頂戴したいと存じます。

今後の状況によって、料金案をお示しし、御協議を賜りたいと存じますので、何とぞ御了承を賜りたいと存じます。

また、資料の4ページの下側には、これまでの収入状況を、5ページからは昨年3月から本年3月までの駐車場の利用状況と渋滞長を表にして添付しておりますので、参考に御高覧賜りたいと存じます。

以上、「市営宇治駐車場及び市営内宮前駐車場の検証について」御説明申し上げます。

よろしく願い申し上げます。

◎小山 敏委員長

はい、ありがとうございました。

ただいまの説明につきまして、御発言がありましたらお願いいたします。

吉井委員。

○吉井詩子委員

おはようございます。

グリーントピアの駐車場についてお聞きいたします。グリーントピアは、競技場で大会があるときに利用者のパーキングに使われていると理解しておりますが、雨天時は使えないというようなことが起こっているとお聞きしているのですが、舗装とかに

関しての計画とかございませんでしょうか。

◎小山 敏委員長
次長。

●中村都市整備部次長

舗装の計画はございません。1年前にグリーントピアを公園に使うということから、現在のところ舗装にはできないと、このように考えております。

◎小山 敏委員長
吉井委員。

○吉井詩子委員

わかりました。現実、市民の方からのお声をお聞きしているという議員もおりまして、陸上関係者の方などからそのように雨天時に使えないので困っているという声があるので少しちょっと考慮もしていただきたいなと思いますのでお願いいたします。

あと、それからこの競技場のこの陸上関係者の方がそういうお声なのですが、この大会が行われるときに、朝の7時半から6時ぐらいまで使われる方もいるそうです。そうすると、料金が大変高くなってしまいうということ、はっきりいってたらもう早く負けて帰ったほうが得という、表彰状をもらうまでいけば2,500円ほど払わないかんということで、それはまあ教育上のことも、スポーツという、そういう発展の効果を考えましても、そこら辺も総合的に市として考えていかなければならないのではないかなと、そういう声もお聞きします。最高1,500円程度にできないのかなというような意見もあるんですが、その点いかがお考えでしょうか。

◎小山 敏委員長
交通政策課長。

●岡交通政策課長

まずですね、競技大会が行われるときには、大きく二つの考え方があろうかと思えます。

1つは、大会の関係者、それからもう1つは応援者という形になるかと思えます。大会関係者につきましては、大会関係者から、基本的には陸上競技場の駐車場を御利用いただきまして、その上で入れない場合も想定されることからですね、証明書等を発行していただいて、無料でとめていただいておりますということもお聞きしております。

一方で応援する方々につきましては、難しい部分もあるかと、基本的にはお客様ということで有料駐車場の御利用をいただいているという現状ですので、今のところは、その状況でお願いしたいというふうに考えております。

◎小山 敏委員長
吉井委員。

○吉井詩子委員

はい、ありがとうございます。

大変難しい問題とは思いますが、そういうふうにはスポーツをがんばっている人に関しても応援もしていきたいという観点からも、また市として取り組んでいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

◎小山 敏委員長

他にございませんか。
工村委員。

○工村一三委員

ちょっと2点ほどお聞きしたいと思います。

まず、この1年間の検証結果ですが、1ページの目の1番上の(1)のところですけど、有料化による効果の検証ということで、駐車場収入及び渋滞緩和というところ、伊勢自動車道における最大渋滞長という表現がされておるんですけど、これは平成15年の数字を引っ張り出してきておりますけど、有料化による検証結果じゃないような気がするんで、これ有料化になった場合と、有料化前、有料化後の数字を入れるべきじゃないかというふうに1点思いますが、その点についていかがでしょうか。

◎小山 敏委員長
交通政策課長。

●岡交通政策課長

今回の有料化、昨年からさせていただいております駐車場の有料化につきましては、今委員御指摘のとおりですね、その部分とこの検証結果の部分の具体的な数値はいかがかということだと思いますが、まず、パークアンドバスライドといいますか、渋滞対策のために、非常に多額の費用がかかるという中で、当初は社会実験等も含めて始めていただいたところでございますが、継続的に取り組む必要があるということの中で、継続可能な取り組みの一つとして、財源を確保するということも踏まえてですね、今回の有料化をしているということで、そういう意味合いの中で、一つの比較ができる数字としてあげさせていただいておりますので御理解賜りたいと存じます。

◎小山 敏委員長
工村委員。

○工村一三委員

ちょっと、中の資料を見せてもらいましたら、国道23号線で一番大きな渋滞が5月

3日から5月5日、2.6から2.9メートルぐらいが渋滞されておるといふ、ここの数字が出ておりますけれども、極端な話、有料でない場合は、入り口でのいろんな状況を見て、すっとスムーズに入っていける、有料になったら、ちょっとその、どこの駐車場に入ろうかな、満杯やな、お金を入れやないかなとかいふふうな形での、有料前と有料後の数値というのはつかんでおるわけですか。

◎小山 敏委員長
交通政策課長。

●岡交通政策課長

渋滞長につきましては、表のほうに一覧であげさせていただいておりますので、今ごらんいただいております。

一方その有料化したからどうこうというよりは、先ほど申しましたように、パークアンドバスライドも渋滞対策の大きな解決策の一つとしてさせていただいておりますので、例えばここで5月3日からのところを今御指摘賜ったわけでございますが、この日はですね、実際にはパークアンドバスライドを実施しております。

逆に実施しないと、この数値では済まないだろうなということもございまして、パークアンドバスライド実施したから、これだけで済んでいるという考え方も一方て出来るというふうにご考えてございまして、そういう意味合いの中でですね、御理解賜れば、ありがたいなというふうに思っております。

◎小山 敏委員長
工村委員。

○工村一三委員

私の意図とちょっと違うところがありますけれども、有料化した時点で、別にパークアンド、5月の連休と繁忙期のお正月等にパークアンドをしておるから大丈夫だというふうに解釈させていただきます。

それから3ページのところで、1番下に、いろいろと懸案に対する対策がずっと書かれておるわけですが、1番ここで重要やなと思う、現在の料金の検討については現在調整しているというふうにご書かれております。

実質この中身を見てみますと、宇治の駐車場で2時間以内が40%ぐらい、42、3%、それから内宮までですと62%ぐらいが2時間以内で帰られている。1,000円払った場合は、30%ぐらいが2時間以内ということで、多少この料金設定について、内宮周辺あるいは、宇治のあたりに対する滞在時間が非常にせわしないという、ここにも書いてございますが、不満があがっていると、そういうふうな事を含めた形で、またあるいは、それプラス収入にどれくらい影響が出てくるのかというふうな方向で検討されると思いますが、現在のところ答えられるかどうかわかりませんが、その辺どういふふうにご、これが1番大きな問題だと思っておりますので、いつ頃までにごいふふうにご考えられているのか、お聞かせ願いたいと思っております。

◎小山 敏委員長
交通政策課長。

●岡交通政策課長

まず、料金改定、今委員仰せのとおりですね、収入の問題等々もございます。今回お示しをいたしました懸案事項の内容がすべて 100%反映できるかどうかは別としまして、課題として懸案としてあがっているということでお示しをさせていただいております。

この中で、料金改定を今後考えていく上で、ぶれてはならないと私ども考えております点につきましては、料金改定をすることにより、現在よりも渋滞が発生することがあってはならない、こういうことがまず1点と、それからもう1点は今おっしゃっていただいた収入のこととございます。そもそもパークアンドバスライド等含めまして、渋滞対策を行うための取り組みとして、一貫として、行ってきたわけとございますので、その辺を念頭に置いた上で、懸案事項の解決が少しでもできるように今後検討してまいりたいと考えておりますので御理解賜りたいと存じます。

◎小山 敏委員長
工村委員。

○工村一三委員

1年たってから検証結果をやるということで、昨年お話を聞いておりますので、今からどうかもわかりませんが、どれくらいのめどでいつごろぐらいまでに検討結果を表に出していただけるかなというふうに考えています。その点をちょっと答弁もれありましたので。

◎小山 敏委員長
次長。

●中村都市整備部次長

料金の検討につきましては、1年たってからということではなく、1年前から検討してまいってまいりました。それぞれ関係者とも協議をしてまいりました。

ただ、この料金の改定で、決めるときもそうでしたが、改定につきましても、方々の関係者の御意見を今伺っておりますが、非常に皆さんの意見をすべて合意といえますか、かなえるようなことがなかなか難しいということで現在に至っております。

ですので、もうしばらく時間がかかるかもわかりませんが、なるべく早い機会に、具体案をお示して決定していきたいとこのように考えております。

○工村一三委員

最後にします。そうしますと6月の定例議会では無理というふうに解釈してよろしいですか。

◎小山 敏委員長
次長。

●中村都市整備部次長

現在のところ、6月には非常に厳しいものであると考えております。次か、次とこういうようなところで目指していきたいと考えております。

いずれにしても、早い機会には案を議会側にもお示しし、それと、関係者との調整も早く進めるように努力をしてみたいとこのように考えております。

◎小山 敏委員長
工村委員。

○工村一三委員

10月に遷宮がありますし、今お白石曳きでこれからまた忙しくなると思います。

その遷宮が終わってからの影響もあると思いますので、できるだけ早い機会に提示していただきたいというふうに思います。

◎小山 敏委員長
他に御発言は、はい、山本委員。

○山本正一委員

今当局のほうで、るる説明があったのですが、これは1年の検証ということで報告をされたのですが、今この資料を見ておりますと、有料化による効果ということで、当然渋滞は少なくなったよとか、お金が入って、有料化の前の誘導員も13から21名にふやしたということで、これはわかるんですが、この資料のどこを見ても、いわゆる1年間にいくらあがって、今まで工事でどれくらい使って、どんなんやと。これから先、何年後ぐらいにはどれくらいの黒字になっていくんやとか、そういう検証、それを検証していかないかと思うんやわ。その資料が全くないわな、ここ、お金に関するところが。そやでこれ見ておっても渋滞がどうやとか、まあ、ということなんさな、これ。そこら辺はどういうふうに考えておるんかな。これ、わからんわな、これでは、お金のほうの。

◎小山 敏委員長
次長。

●中村都市整備部次長

検証、お金はこれだけ入ったよということで資料4のほうに添付をさせていただきました。またこれまで使っていたとか今後使っていくという部分については、料金の改定の際に、これまで計画表といいますか、そういう表をお示ししておりますので、

その際に、同じように出ささせていただきたいと考えておりますので、御理解賜りますようよろしくお願いいたします。

◎小山 敏委員長
山本委員。

○山本正一委員

いやいや、それは料金の改定の際に出すということやけど、改定前はどうなっておるんやと。それやったら改定前と改定後はどうなんのやという、その検証をせないかんわな。そやで今、出すものは出しておいて、改定したらこうなりますということのほうが親切とちがうん。それはやっぱり資料不足やに。その検証の結果やでさ、やっぱりお金のことも踏まえて、ここへいれえおかと、これまた市民の人にも説明はできやんわな。それならこれ、具体的な話をしたら交通誘導員が今まで2名しかいなかったと。ところが13名から21名になったんやと。それはふえたもんで、それだけの余裕が出てきたわけや。そやでその余裕が出てきたには、どれくらい出てきたもんで、これだけの体制ができるんやと。それでまだあがってきたお金に関しては、何々に使っていくんやというような説明のほうがわかりやすいわな。これ、ぼくらがだれか、市民に説明をしたときに、それええことやなど。それでどんなになつとんのやと言われるわな、必ず。そこら辺がやっぱり、当局のほうの資料不足というんか、これをただ本当に、渋滞が緩和されましたよ、こんなになりましたよというだけでは、やっぱりもの足らんわな、これは言うておってもしょうがないけど、再度、ちょっと最後に。

◎小山 敏委員長
次長。

●中村都市整備部次長

大変申しわけございませんでした。次回にはそのような内訳を示すような形で、またお知らせをしたいと思います。

◎小山 敏委員長
他にございませんでしょうか。
世古口委員。

○世古口新吾委員

当局からそれなりの説明を受けたわけですが、今も話が出ておりますように具体性に欠けるんじゃないか、私もこのように思っております。

それで、1年間の検証結果ということで、有料化による効果ということで列記されておりますが、やはりそれだけの目的を持って有料化にして、財政的な面も若干の余裕ができて、持ち出ししなくてもいいような対応ができたということで、人数もかな

りふえておりますわな。これは当然のことであって、こんなのもういまさら報告してもらわんでも、こういう経過の話やで報告として受けておきますけれどな、ここらより、やっぱり今でも、なんですか、伊勢自動車道における最大渋滞ということで、これはかなり緩和されておりますけれど、伊勢自動車道だけじゃなくして、御木本道路とか、あの辺が、日常生活者にもものすごく迷惑がかかっておるといふか、そのためには車も増加しておりますし、駐車場の確保の問題もあるわけですけど。やっぱりこちらの知恵を絞って、駐車場と絡めて、有料化と絡めて対応してもらわんといかんのではないかなと。やっぱり日常、観光客としてきてもらう方も、ありがたいことですけど、やっぱり地元の方は生活に支障を来たすようなことではどうにもならないという、朝出ると夕方まで御木本道路なんかでも、日によっては家に帰れやんというようなことも、途中で車をほっておいて歩いて帰らなければいけない。そういったことについても、やはりもっと真剣にその辺を、やっぱり対応してもらわんとさ、いかんのではないかなとこのように思いますが、この辺について見解をお聞きしたいと思っております。

◎小山 敏委員長
交通政策課長。

●岡交通政策課長

今の御指摘のとおりですね、市民の皆さんには、観光でたくさんおいでになる観光客の方々も含めてですね、生活面での多大な御迷惑をかけているということもございます。

これまで渋滞対策についてですね、伊勢地域の観光交通対策協議会という3次団体を含むですね、皆さんのお知恵をお借りしながらですね、パークアンドバスライド、これまでは、中心に検討を重ねてきております。

ただ一方、今現状といたしましては、どんだけ対策をうっても、いっぱいたくさんの方々に来ていただいているという状況も含めてですね、今後は、公共交通機関の利用促進の関係をどのように具体的に取組んできたかとかいうことはですね、その今おっしゃっていただいた高速道路だけではなく、できる限りの対策をですね、対症療法的な部分も含めてですね、手を打ちながら、遷宮の時期に向けて対策をうってまいりたいと考えておりますので、恐らく特効薬はないかと思っておりますので、いろんな対症療法をつなぎあわせて、少しでも効果が上がるように協議会の中で、手を打っていきたいというふうに考えておりますので、よろしくお願いたします。

◎小山 敏委員長
世古口委員。

○世古口新吾委員

今、遷宮を控えておりますし、車で来るお客さんも非常に多い中で、それは大変な問題だと思います。今後まださらに10月に向けてパニック状態になってくるんじゃないかなと、このように思っております。なかなか、これに対する良薬はないとい

うことで、先ほども答弁がございましたが、私も特に決め手になるようなものはないんじゃないかなと思っております。そうした中で、現状の中でいかに課題を克服するかということで精一杯努力していただきたいと思っております。

それから、バスの有料化の関係につきまして説明ございましたが、これにつきまして、有料化で対応するよというということで、今後考えられておりますが、有料化することによる効果、どのような効果を期待しておるのか。今でもやっぱり、無料であっても、若干時間がどうなるかわからんですけれども、スカイラインのほうですか、あそこにも車をまわしておるといようなことを耳にするわけですが、その辺についてどのような効果を生むのか。

◎小山 敏委員長
交通政策課長。

●岡交通政策課長

先ほど委員のほうからも駐車場、おさめる場所等々についてもという話があったように、結局観光バスをどこへとめていただくかという話になってこようかと思っております。

そのときに先ほど申しました伊勢志摩スカイラインの一番頂上にバスが止められる場所がございますので、基本的には、効果としましては、要は内宮前の駐車場になるべくバスを少なくして、別の場所へ移っていただく。そのときに、伊勢志摩スカイラインは、通常 4,900 円の通行料が必要になります。ところが、空バスといいますか、回送、お客様を乗せない回送バスの状態で御相談申し上げて、今了解を取りつけているのが 2,500 円という形での料金設定をしておりますのが、今 2,500 円の内容となつてございますが、ただ、今現在は無料ということで、無料と 2,500 円、たとえ 2,500 円といつてもですね、なかなか動いていただけない現状がございますので、その今、年末年始では臨時的に 3 千円をちょうどいしている部分もございしますので、その料金とあわせて 3 千円の設定にさせていただきたいということで考えております。

もう 1 つは、今現在、場合によっては第 2 駐車場のほう、今、宇治神社の下のほうの広い駐車場がございますが、あそこにも多いときにはバスがとまっている。基本的にはあそこは、普通車の駐車場として本来は確保できるはずの場所が無料のバスで埋められているという状況もございしますので、そういう両面から非常に高い効果が出るんじゃないかというふうに考えております。

◎小山 敏委員長
よろしいですか。
他に御発言は。
品川委員。

○品川幸久委員

細かいことは皆さん種々聞いていただいたので僕はほとんど聞くことないのですが、

先ほど言われた、課長のほうからですね、料金改定によってぶれたらいかんということで、料金改定によって渋滞がふえてはいけないというふうなお話がありましたけど、それちょっと私意味がよくわからないんで、どういうことなのか説明をしていただけますか。

◎小山 敏委員長
交通政策課長。

●岡交通政策課長

ちょっと抽象的な話になってしまったので大変申しわけございません。

料金の見直しを考える際には、いろんなパターンが考えられるのではないかなということで、今回お示しをいたしておりませんが、例えばその、先ほど利用状況が宇治のほうと内宮前のほうで利用状況に差がありますと、平日と繁忙期によっても違いますが、閑散期と繁忙期によっても違いますがという話を申しました。

違うということは、料金の設定も場合によっては、違う考え方も出てくるかもしれませんがということの中で、それによってですね、内宮前のほうへさらに車がふえてしまうようなことがあってはならないということの例えで言わせていただいた部分でございまして、要は、収入の確保であったりとか、どういう形の料金体系になるかわかりませんが明確に答えられませんが、例えば1例を挙げさせていただきましたように、料金改定することによって、逆に今常に渋滞しているような内宮前がさらに渋滞の促進がされてしまうような改定であってはならないというふうに考えておるところでございます。

◎小山 敏委員長
品川委員。

○品川幸久委員

ちょっと奥まで話をするとややこしくなるんで、ちょっと、非常にアバウトな表現の仕方ですね、実際料金を取ったから、渋滞がなくなったわけではなくて、渋滞を解消するためのお金を収益としてあげるためにこれをやって、パークアンドバスライドでやられたというようなことを、ちょっとあんまりこう、料金改定したから渋滞がふえるというのは、僕はちょっと疑問ですけど、それはまたゆっくりとお話したいと思います。

それとですね、今バスの駐車場で料金を取るというふうな話があったんですけど、今までも何回も空バスをスカイラインに上げておるやないかというふうな話、私もバスの運転手さんから非常に苦情も聞いておりますけど、そこまでやられるのであれば、当然バスの駐車場でですね、1つ確保するような方法を考えたらどうですかと私は思っております。

例えば今度の伊勢病院なんかでも、建てるのに敷地を確保してですね、広げるというのであればね、やっぱりそういうところでバスの駐車場、わざわざスカイラインへ行

ってですね、やっていただけるよりも、市がちゃんと駐車場をもう一つ確保して、バスそこへ入れてもらうようなことは、努力をしたらできるんじゃないかなと、そのように思っておるんですけど、そんな感覚はないんですか。

◎小山 敏委員長
次長。

●中村都市整備部次長

バスの駐車場の御指摘を受けましたが、バスに限らずですね、乗用車も含めまして、絶対数が足らないと、このようには考えております。したがって、それにつきましては、容量を何とかふやすような考え方は、今後も含めまして検討はしていかなければならないと、このように考えておりますので、ただ、今のところを差し当たってスカイラインの駐車場を利用することが1番現実的であるということから、このように御提案を申し上げておりますことから、このようにしたい、一時的には、したいと思っておりますが、今後も土地もいりますので、そのようなことも今後模索していきたいと考えております。

◎小山 敏委員長
品川委員。

○品川幸久委員

それともう一つ聞きたかったんですけど、この資料を出されて、今日5月16日ですけどね、ゴールデンウィークの渋滞状況なんかというのは、1番旬な話しでね、この間のゴールデンウィークは、実はこうでしたよ、なんていう話は、本来ならこの委員会で言うべきですよ。話の入り口が、昔の1月2日はこんだけの渋滞があったけど、ことしがこうやなかったっていう話じゃなくてね、ゴールデンウィークは、実は、今までどおりやともものすごかったんやけども、それにおいてどういうふうになったとかね、やっぱりそういうふうな話も1つ入れて欲しかったと、これはちょっと要望しておきます。

それとですね、もう1つだけお聞きしたいのは、伊勢市としてですね、観光を考えた中でですね、先ほどから話が出ておったけれどもせわしくさせておる部分もあってですね、伊勢市としては、今、世の中はゆったリズムというので、観光はじっくり伊勢を見ていってくださいねと、楽しんでくださいねという観光を目指しておるのか、さっさと出ていってくださいと、渋滞で邪魔やでという感覚、どちらのほうを今優先されておるのか、ちょっとお聞きしたいと思っておりますけど。

◎小山 敏委員長
観光企画課長。

●北村観光企画課長

観光サイドとしては基本的にですね、伊勢に滞在する時間をですね、伸ばしていこうというふうなことでそのように考えております。

◎小山 敏委員長

品川委員。

○品川幸久委員

若干ね、僕は、自分は駐車場の料金についてはね、観光でこられとる方はやっぱり腹をくくって来てもらっておると思うんですね。ですから、そんなに、100円上がるからというような思いはもうないと思うんですね。

ですから、前から言っておるように、繁忙期だけ1,000円とりなさいよと。平日についてはね、例えば、3時間、4時間を超えてくると、これは、500円ぐらいは生じますよと。それぐらいのことでやっていただければいいなということは、前から言わせていただいておりますけど。何か話を聞いておると、料金が加算されることによって、渋滞がなくなるみたいな話に聞こえるんですね。渋滞とそういう駐車場というのは全く別個のものとして考えたほうがね、駐車場は今まであって、そののところにずっととめておった方がおったから、無断でとめていた方がおったから、そうやったと。今その部分が減りましたよと。駐車場も広げましたよと。その駐車場がスムーズに入れるから渋滞は減ったと、まあこれは一つわかりますよね。そやけどお金がどうのこのだから渋滞が変わるというようなことは、僕は違うと思うんでね、何かごっちゃにして話をすると、宇治の駐車場を有料にしたもんで渋滞が減ったみたいな話は、僕はちょっと違うのかなと。最初の入り口論は、実はそうやったと思うんですけど、料金を取ることによってね、これはパークアンドバスライドであるとか、シャトルバスを走らせるとかいろんなことを考えてくれる、これはものすごくいいことやと思うんで、どんどんやったらいいと思うんですけど、イコールにはならへんと思うのです。

それやったらもっと駐車場をどんどん広げてですね、確保するようにしたらいいし、先ほどバスなんかでも、空バスを走らせるぐらいやったら、そこで、スカイラインに2,500を払ってもらうぐらいやったらね、伊勢市が3千円とれるのであれば、ちゃんとして駐車場を確保して収入をあげたらどうですか。やっぱりそういうふうな感覚をもたんとですね、今は、スカイラインの上に駐車場もあるもんで行ってくださいと、そやけど、スカイラインは、やっぱりね、観光で行ってほしいところでもありますのでね、やっぱりバスの運転手さんも、何で2,500円払って、上のスカイラインで待っておらないかのやろと思うとですね、やっぱり地べた、下のところにですね、伊勢市が何とかして駐車場を確保して、そこで収益を上げてもらうほうがね、同じ3千円をとるんやったら、僕は非常に意味があると思います。

それぐらいです、すいません。

◎小山 敏委員長

他に御発言はございませんか。

○山本正一委員

ちょっとな、おわびと訂正をしておきたいんですわ、よろしいですか。

◎小山 敏委員長

じゃあ、山本委員。

○山本正一委員

あの、今私、これ4ページのところに収入のことは書いてあるんですが、これも今ちょっと拝見をさせていただきまして、それで、つけ加えるのは、ここ収入があるんやで、支出を書いておくと非常にわかりやすい思うんさな。それで支出を書いて、これぐらい儲かってくるんやということになってくると、今品川委員がいったように、それを財源としてどこかに土地を確保しよかとか、いろんな案が生まれてくると思うんさ。やっぱり収入があったら、支出も書いておいたほうがわかりやすいと思いますので、おわびと訂正で一つよろしくお願ひしたいと思います。以上です。

◎小山 敏委員長

他に御発言はございませんか。

はい、上田委員

○上田修一委員

1点だけ確認ですけど、バス料金の料金改定の無料化という形でされているのが、置き場所がないということで有料にしながらですね、スカイラインへあげていくということで、まず、3千円にする最初の根拠というのは、2,500円のスカイラインの料金がかかるから3千円にするということではないのでしょうか。

◎小山 敏委員長

交通政策課長。

●岡交通政策課長

まずそれが基本になってございます。

◎小山 敏委員長

上田委員。

○上田修一委員

余りにも短絡的な考え方で料金を決めてはですね、やっぱり、バスというたらエージェントがあって、そのバスのいくらかかって、どんな感じで、このコースはいくらでやりますという形でやられる中で、短絡的に、スカイラインをあがっていくから、2,500円が3千円にするんだというようなことじゃなくって、本当にこのバス料金がで

すね、そういうエージェントとかいろんな形の中でどれぐらいのものを出して、そういう有料にするバスが置くときにはどのようなデータはとられていますか。

◎小山 敏委員長
次長。

●中村都市整備部次長

この料金は、現在正月期に実施している金額でございますので、その金額でやりたいとこのように考えております。

◎小山 敏委員長
上田委員。

○上田修一委員

ちょっともういっぺん確認です。正月期にこのバス料金、3千円をとっておるといふことの感覚でいいのですか。

◎小山 敏委員長
次長。

●中村都市整備部次長

そのとおりでございます。

◎小山 敏委員長
上田委員。

○上田修一委員

どこでとっておるんですか。

◎小山 敏委員長
次長。

●中村都市整備部次長

御承知のように、ゴールデンウィークとか正月期には、観光交通対策協議会というのが実施しております、パークアンドバスライドも協議会の方が実施しております。

したがって、全体の、正月に受け入れる時には、簡単に言うとパークアンドバスライドを実施しているときには、交通対策協議会の方が実施をして、そこで3千円をいただいております。

それは内宮前でとっているということではなく、陸上競技場等でいただいております。

◎小山 敏委員長
上田委員。

○上田修一委員

すいません、私の言った言い方が間違っておるのかもわかりませんが、どこでその3千円をとっておるんかって聞いただけです。どこに駐車場をして3千円をとっておるんかということです。

◎小山 敏委員長
次長。

●中村都市整備部次長

伊勢観光交通対策協議会で（「違う、違う、場所」と呼ぶ者あり）、あの、陸上競技場です。パークアンドバスライドを実施するときには内宮前では乗降はさせますが、とめることはできませんので、それを陸上競技場へ回す、あるいは陸上競技場でお客様を降ろしていきますので、それで満車になると容量がありませんので、その容量をスカイラインに求めていくと、こういうこととなります。

◎小山 敏委員長
上田委員。

○上田修一委員

料金の問題は、まあ3千円というのは他市もだいたいそれぐらいの金額でバスの駐車料はとられるのかなと思うのですが、先ほど聞いたように繁忙期のゴールデンウィークは、要するに内宮周辺にとめますよね、少なくとも10分ぐらいの場所のところについてとめてもらって空で置いておくわけですよ。繁忙期のね、そういう今までの3千円は。それが遠い山の上まであげて行って、3千円というのは恐らくこのままでいけば3千円もとれば、どっかに全く市内のどこかにとめておいて待っておいてというような話が恐らくつくられる形が多く出てくるのかなと思うんです。

スカイラインへあがっていきなさい、3千円で、とれへんだ人という話になるとですね、非常にこの3千円自体が、今度バスがとめるかどうかという話が出てくるわけですね。今までの無料やったら、場所が確保できるけれども、その辺のところはですね、どこまでそういう精査をされとるんか、ちょっともう一度、再度お願いします。

◎小山 敏委員長
交通政策課長。

●岡交通政策課長

まずですね、今3千円、おっしゃっていただきましたが、スカイラインの方は、回

送バスのほうは2,500円でございますのでよろしくお願いいたします。

また内宮前に有料化の話しを今させていただきましたが、内宮前にとめさせないのではなくて、とめていただけるんですが、今は第2駐車場というか、宇治神社の下のほうまでバスをとめている状況をできる限り、少しでも別の場所へ御移動いただくということが今回の部分の一つの要素になってございますので、内宮前に求めていただける、かつ内宮前の駐車場の確保もしていきたいという含みも含めて、3千円ということを見せていただいておりますので、よろしくお願いいたします。

◎小山 敏委員長

他に御発言はございませんか。

工村委員。

○工村一三委員

実は有料の話の検証ということでしたんですけども、渋滞対策の緩和の話が出ておりましたので都市整備部長がいらっしゃいますので、1点、確認で結構ですのでお願いしたいと思います。

県道館町通線、その後はどのようになっていますでしょうか。

◎小山 敏委員長

都市整備部長。

●高谷都市整備部長

委員御質問の館町通線につきましては、これは懸案事項ということで、渋滞解消ということで23号線まで御側橋を拡幅して、バイパスルートをつくるということで昨年までずっと協議をしてきました。

いよいよ県のほうでも、ことしから取り組んでいただけるということもお聞きしておりますので、今後、まだいろいろ課題事項もございます。ですので、今、県と市と連携して前へ進める形で今進めておりますので、御理解を賜りますようよろしくお願いいたします。

◎小山 敏委員長

他に御発言はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎小山 敏委員長

よろしいか。

はい。

他に御発言もないようでございますので、報告に対する質疑を終わります。

次に、委員間の自由討議を行います。

何か発言がございましたらお願いします。

いいですか。

発言ございませんか。

上田委員。

○上田修一委員

先ほど山本委員が言われた、そういうそのこの状態でいけば、収支は恐らくみえないし、恐らくこれ検討課題という形で言うとするけど、やっぱり収支をもう少し聞いてやるという機会をもう一度ですね、やっぱり議員間でとらないと、それこそ何となつたんやという話を、先ほど山本委員の言われたように、市民から聞かれたときに、こんだけあがったけど、これだけ使ったというような話ができないと思うんですが、その辺はいいんですかねと思います。その辺の論議をお願いしたいと思います。

◎小山 敏委員長

山本委員。

○山本正一委員

そういうことなんでね、やっぱり収入ばかりやなしに、支出も書いて、あそこをトータル的に、宇治の駐車場はどれくらいかかったんやと、それで今このぐらいの金額が出ていますよね、4ページの。そうするとだいたい人件費がどれくらいかかっているんやというようなことが、わかってくるんやと思うんや。そうすると、その中で値段をあげやないかんのか、また安くせないかんのか、いろんなことが出てくると思う。そうすると品川議員のあんなどこまでという話があったら、あがってくる収益をプールしておいて・・・。

◎小山 敏委員長

山本委員、委員間の討議ですから。

○山本正一委員

どこかへ土地を買おうかというような話になってきて、それで議員間討議でそれならそうしたほうがいいやないか、こうしたほうがいいやないかという議論がつながってくると思うんさ。そやで今、これだけでは、やっぱり収入だけの話やで、どんだけ損して、どんだけ儲かっておるのか、儲かっておるといったらおかしいけれども、やっぱりあると思うんやわ。そうすると次の展開が我々も読めやんわけや。やっぱりその基礎資料がない。

そやで今回、今上田委員も、ここもみなそれに絡んでくるで、やっぱりそういうことは収支をちゃんとこう、したほうがわかりやすく親切やと思うよ、当局の。そうすると次の議論に我々も入っていけるし、もう金額はあげやんでいいやないかとか、もうこのままにしていこうとか、もうちょっと落としてもいいやないかというような話になるけれども、これだけアバウト過ぎてちょっとわかりにくいわな。そやでそう

いうことやわな。

◎小山 敏委員長

どうでしょうかね、当局から次の提案が来る前に、もっと詳しい資料を出していただいて議員間で自由討議をしますか。

○山本正一委員

まあ、それも大事やな。そやないとできやんもんな、これは。この資料ではな。そやで1年間の検証と書いてあるんやで。検証は、渋滞だけの検証ではないわさ。すべてを検証していかないかん。すべてを。そやでそこら辺も含めて、そしてパークアンドバスライドももうちょっと安くしたってもええやないかというような意見も出てくるやろうし、今1,000円とっておるやつをこれだけ儲かっておるんやで500円でもええやないかというような話にもなってくると思うよ。

そやでもうちょっと資料提供をさ、もっと親切にしてもらうように、委員長からちょっとあれして、もうそれでいいんとちがうかな。

◎小山 敏委員長

品川委員。

○品川幸久委員

先ほど工村委員が聞かれた渋滞を解消するために館町通線なんかは非常に大事なことやというふうな話はずっと出ていましたよね。だから先ほど言ったように駐車場をしたので渋滞がなくなるんじゃないかと、やっぱりそれに対してルートをちゃんとつくって流すということ自体が大事であって、先ほどもなんか当局のほうとしては、今検討しています。進めていますみたいな話ですが、やっぱりこれはもう伊勢市が力を入れて、それは県の話もあると思うのですが、県がなかなかぐずぐずしておるのなら、伊勢市だけでもやりかけるようなことがないと突破口がなかなか開けないかなというふうに私は思っています。

できれば遷宮までにやって欲しかったというのは、みんなの気持ちと思うんですけどね。なかなかよう踏み切らんだということもあるんで、当然、原因者負担ということもあってですね、伊勢市が県道をさわるわけにいかんということをおぼえておりますけどね、そこまでやったるといような気持ちがあらんとね、なかなか突発できないかなと思います。それとですね、先ほど言わせていただいたように、やっぱりバスの駐車場は、空バスをあげておると、やっぱり、そういうこともないと思いますが、上田委員の言われたようにそこらへ車をとめといてですねというようなこともあるかもわかりません。ですからやっぱり早急にそういうふうなバスを置けるところをですね、別に、スカイラインまで上がることを考えたら、もっとしたら、伊勢市が確保できるのはそんなに内宮さんの近くじゃなくてもいいわけなので、それだったら、できれば内宮さんに近いほうになれば非常にいいことですが、スカイラインまであがることの距離を考えておったら、もうちょっと近くに土地があれば、買うこともできるん

じゃないかなと。そうするとわざわざ陸上競技場のところにとめんとですね、そのところへ集中して行かすことも一つの方法だろうし、例えば今の県営体育館が非常に古くなっておるんでしたらね、耐震性も疑われると言われるのであれば、例えばその県営体育館を伊勢市がいただいて、買い取るとかなんとかして、そこを駐車場にするとか、いろんなことを考えていかんとですね、なかなかそんなことは解消できないかなと僕はそういうふうに思っています。

◎小山 敏委員長

はい、山本委員。

○山本正一委員

今品川委員がバスの回送の話をしておるのですが、具体的にどこかあるのかな、場所は。もう全くわからんけれども、何台ぐらい回送してき、どのくらいのスペースが平地にいるんかさ、そこら辺の場所はどっかあるのかな、回送していかんでも。今しておることが一番安いとちがうんか、回送しておるのが。

◎小山 敏委員長

工村委員。

○工村一三委員

今バスの話が出ておりましたが、まあちょっと離れておるけど、スカイラインへ行くと思ったらね、パークアンドバスで、アリーナの前の、前の焼却場の跡地、あそこもパークアンドで使っております。

それから二見の戦国村の下の広場のところ、あそこも置かせてもらっているんで、戦国のところに行くには 200 円払わないかんか、下から回っていくかですが、あの辺でしたら、別にそんなに、10 分ぐらいで行き来できるので非常にいいなというふうな気はしていましたけれどね、場所の件に関しては。例えばそういうものも一つ当局のほうで考えていただきたいなというふうに思います。まあ 1 案ですけど。

◎小山 敏委員長

はい、上田委員。

○上田修一委員

提案してあれですが、例えば懸案事項のバスの 3 千円なんかも、無料が、置く場所がなくなってきたもんで、スカイラインへあげると、もう要するに行きたくないという運転手がおるからいろんなことがある。そこで 3 千円とるという話でしょ。だからゼロ円にしておって場所を確保しておるのは、収支が出てこない、何台もね、ゼロ円やから何台とめておるかわからん。それでこれが満杯になってしまったので、バスが上にあげていくと 2,500 円は払いたくないから行かへん。それで 3 千円とるという發送ですやろ。だからその辺のところ収支の全体の、ゼロ円が何台おって、そしてそ

のゼロ円がこんだけの場所しかないんやったら、やっぱり場所設営をすればいいと思うんです。バスのこんだけの確保というのは、よそは、バスはこれだけしか置けません、事前に連絡してくださいとあって、バスを確保するわけや、よその駐車場はな。だからそれすらどんどん来て、ゼロ円から、早く入ったものが勝ち、遅くなったら外へ、スカイラインへ行けというような発想はさ、短絡的な話やないかなと思うんさな。

◎小山 敏委員長

ちょっと待って途中やけど。

もういいですか。

はい、山本委員。

○山本正一委員

今、工村さんが言うように、戦国時代村がいいのか、またちょっと違うところも言ってみえたけれども、そここのところへ置くことにおいて金がいらんのかということやわな、市の土地と違ったら。戦国時代村も金が欲しい。

○岡田善行副委員長

戦国村の下、市の土地です。

○山本正一委員

市の土地か。もうそこは使えへんのかな。俺はようわからんのやけれども。当局どうなんやな、今言っておるところ、市の土地があるんかな、大きなところ。

●中村都市整備部次長

戦国時代村の前の用地は市の土地でありまして、一部個人がありますが、現在、県の下水道の土を埋めているところでごさいます、そのでき上がった、おさまったあかつきには駐車場としての利用は可能と考えています。ですのでそこへ、バスが行くかどうかというのはちょっと距離の関係でどうなのかなと思っております。やはり回送して時間がかかっておれば、帰りの渋滞に巻き込まれるとちょっと遠いのかなという気はしておりますが、やはりそういう意味ではスカイラインが近く、しかも五十鈴川の右岸側は最適なのかなと、近くですと来られるということ。渋滞に巻き込まれても比較的、まだしれているというようなところで、現在のところはそちらの方面がいいのかなと思っております。

文化村の前は使えないことはない、今後においてですが、すぐには使えませんが。

◎小山 敏委員長

山本委員。

○山本正一委員

今当局の説明ですが、まあ今後使えるやろうと。そやけどバスが何台ぐらい、僕は

全くわからんのでバスが何台ぐらい、そこへ置けるのか、そういうこと。そして渋滞に巻き込まれるというけれども、今、別にそここのところやったら、下を通ってきたらジャスコのところへ出てくるんで、パークアンドバスライドと一緒にルートで行けると思うんさな、それは。まだ向こうの上のほうが、朝熊スカイラインのほうが上りで、油をよくくうわな、どんどんとエンジン、ミッションをロウとかにチェンジでしていかないかんで。それはもうバス会社は平地のほうが、まあ細かい計算やけれどもええわな。そやであそこやったら何ら今の言う、パークアンドバスライドのサンアリーナの前から行っておるのと一緒やで、そんなにも遜色はないと思うんさな。

そやでまたこの話は、もっとみんな、議会も含めてみんなと話をして一番良い方法をとったらええわな、それは。僕はそう思うよ、以上です。

◎小山 敏委員長

他に御発言ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎小山 敏委員長

では、委員長のほうからちょっと当局にお願いですけど、その収支のほうをですね、ちょっとまとめていただいて、また提示していただけますか。それに基づいてまた我々で委員間討議をするかどうか、また決めますので、よろしく願いいたします。

これで自由討議はあります。

本件につきましては引き続き調査を継続していくということで御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎小山 敏委員長

御異議なしと認めます。

本件については引き続き調査を継続いたします。

以上で御審査いただきます案件は終わりましたので、産業建設委員会を閉会いたします。

閉会 午前 11 時 3 分